

平成 25 年 6 月 1 日

プロジェクト連携・関係機関等  
関 係 各 位

国立大学法人東北大学電気通信研究機構  
機構長 中沢 正隆  
(公印省略)

「東北大学電気通信研究機構シンポジウム」  
-耐災害 ICT による東北復興に向けて-  
の開催について (御案内)

日頃より、電気通信研究機構の活動の推進等につきましては御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、東日本大震災直後の 2011 年 10 月 1 日に本機構を創設し、東北大学災害復興新生研究機構が取り組む 8 つのプロジェクトの 1 つである「情報通信再構築プロジェクト」を推進してまいりました。電気通信研究機構の創設から 3 年目を迎えるこの機会に、これまでの取り組みと成果を発信するシンポジウムを下記の通り開催する予定としております。

つきましては、御多忙のところ誠に恐縮ですが、上記開催趣旨等をご理解いただき、貴機関関係者へ広く周知いただくとともに、本シンポジウムへ御参加くださいますよう御案内申し上げます。

記

日 時 平成 25 年 7 月 23 日 (火) 13 時 00 分～17 時 10 分  
場 所 東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール 2 階 会議室  
(仙台市青葉区片平二丁目 1-1)

<アクセス案内> <http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/about/10/about1002/>

申 込 み 電気通信研究機構 HP <http://www.roec.tohoku.ac.jp>

- ・画面左下の「シンポジウムバナー」をクリックし、申込み画面に進んでください。
- ・申込みフォームに必要事項を入力願います。
- ・17 時 30 分より、片平さくらホール 1 階で、懇親会 (会費 5,000 円/人) を開催いたしますのでご参加下さい。

※お席に限りがございますので、お早めにお申込み下さい。

(お問い合わせ先)

東北大学 電気通信研究機構

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平 2-1-1

TEL/FAX:022-217-5566

Mail:ishikawa@riec.tohoku.ac.jp

# 東北大学 電気通信研究機構シンポジウム

## － 耐災害ICTによる東北復興に向けて －

東日本大震災では、情報通信ネットワークの寸断で、通信サービスに大きな制約が生じる等、多大な課題を残しました。東北大学では、この課題解決のため、「情報通信再構築プロジェクト」を立ちあげ、電気通信研究所が中心となり、複数の部局にまたがる電気・情報系の研究者や組織間の連携を可能とする、東北大学電気通信研究機構を2011年10月1日に創設いたしました。災害に強い情報通信ネットワークの構築を目指した産学官連携研究開発プロジェクトのこれまでの成果につきまして、関連地方自治体、民間企業、公的研究機関、大学等の皆様にご紹介致します。

日時 **2013年7月23日（火） 13:00-17:10** 定員**150名**（参加費無料）  
場所 **東北大学 片平キャンパス 片平さくらホール 2階 会議室**

### プログラム

13:00	開会挨拶	東北大学 理事 原 信義
13:10	基調講演 災害と情報	グーグル株式会社 シニアエンジニアリングマネージャ 賀沢 秀人
13:40	宮城県における復旧・復興の取り組み	宮城県 震災復興・企画部情報政策課長 鈴木 宏昭
14:00	NTT東日本 における復旧・復興への取り組み	東日本電信電話株式会社 宮城支店長 五十嵐 克彦
14:20	耐災害ICT研究開発の取り組みについて	独立行政法人情報通信研究機構 耐災害ICT研究センター長 根元 義章
14:40	休憩	
14:55	電気通信研究機構の活動状況について	東北大学電気通信研究機構長 中沢 正隆
15:15	災害に強い重層的通信ネットワークの研究開発	東北大学大学院工学研究科 教授 安達 文幸
15:35	スマホ de リレー -圏外でも通信可能なデュアルモードアドホックネットワーク技術-	東北大学大学院情報科学研究科 教授 加藤 寧
15:55	休憩	
16:05	屋外拡声システムによる確実な災害情報伝達を目指して	東北大学電気通信研究所 教授 鈴木陽一
16:25	防災・減災に資する次世代スーパーコンピュータの開発をめざして	東北大学サイバーサイエンスセンター長 小林広明
16:45	耐災害ICTを目指す自然言語処理	東北大学大学院情報科学研究科 教授 乾健太郎
17:05	閉会挨拶	東北大学電気通信研究機構長 中沢 正隆